

車いす動線を考慮

本格的な障害者対応住宅

アウラ建築設計

アウラ建築設計事務所(札幌市、山下一寛代表)は、札幌市北区内に本格的な障害者対応住宅を設計し、このほど完成した。段差の解消、使いやすいプランニング、コストダウンなど今回の設計で得たノウハウを今後に役立てたい考えた。

車庫から段差解消

車いすでそのまま室内へ

施主はアメリカカ生活が長かったご夫婦で、奥さまが病気の後遺症で左半身不随となり、車いす生活を余儀なくされている。そこで、車いすでも生活しやすく、段差などの障害をなくした住宅を考えた。ご主人は精神科医で身体障害者への精神的な援助を研究していることもあって、奥さまが

使いやすい家にしたという思い入れが強いと同時に、自宅でいろいろな挑戦をしてみたいという考えもあったという。段差の解消は、まず住宅の入口から。車いす対応の乗用車でエントランス共用カーポートに入ると、電動リフトで車いすを下ろす。リフトはタイヤの接地面の高さまで下

ろすため、車庫を途中までスロープにして道路から40cm以上かさ上げした。

ポーチ、風除室、玄関の引き戸で全く段差はなく、多少水が入り込んでも玄関のパッキンで止めれば良いという考え。風除室にはクリーニン



住宅の外観。スロープを上がったところに風除室のドアがある。カーポートが道路路面からかさ上げされているのがわかる。外装はガルバと白いサイディングで張り分けた



風除室から玄関を見る。地面すれすれについている黒いゴムが防水パッキン。カウンターの高さは車いすの手すりの高さよりも若干高くしており、方向転換をするときに邪魔にならないようにしている



カーポート奥から道路側を見る。右の白い部分は「プラットフォーム」と呼んでおり、車いすを下ろすとそのまま風除室に入れる



シャワー室は、ユーティリティーとの境に水返しをつけた。シャワーカーテンの裾を長めにし、この水返し部分に張りつくようにすることで水が流れるのを防ぐ

グシートを置き、車いすはその上を通ることでタイヤの汚れを取り除き、室内に入る。玄関横には将来自力で外出することを考え、スロープをつけた。勾配は20分の1とかなりゆるめに設定。車いすを片手回しの弱い力で登れるように配慮した。

玄関は、車いすで方向転換をしやすく、カウンター下に「えぐり」を入れ、車いすがすっぽり入る余裕がある。キッチン幅330cmのI型。L字型のレイアウトだと、囲まれたスペースがキッチン専用となってしまうため、I型とした。

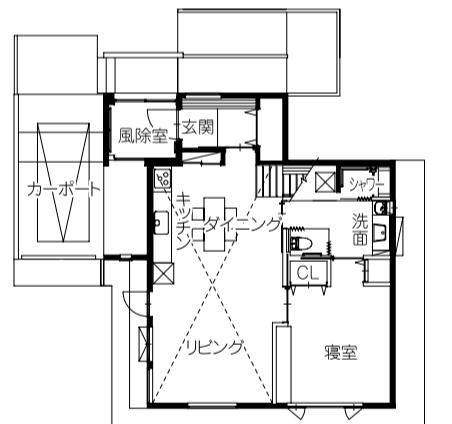
寝室とダイニング両方からトイレ、シャワールーム、洗面所に行けるようにしたのもポイント。当初は寝室からのみの予定だったが、来客がトイレに行くとき寝室を通過しなくて済むよう、階段横に引き戸を設けた。トイレはオープンな造りだが、寝室から直接見えないう位置になっている。引き戸は、夫婦2人の時は開け放しておく。シャワールームも段差

をなくしているが、そのままではユーティリティーに水が回ってしまうので、特注のステンレス製水返しをつけた。これに丈を長めに取ったシャワーカーテンが濡れて張りつくことで水が他のスペースに回らないようにしている。

トイレは、便座の高さを10cm上げた車いす対応タイプは価格が高いため、通常製品の取付部分を木材などで10cmかさ上げして対応している。1階25坪、2階10坪で延床面積は約35坪。あまり高価な建材・設備を使わないことでコストダウンもできたという。山下一寛代表は、「今回の経験を生かし、同様の住宅をなるべく低価格で提供したい」と話している。



キッチンは、樋口がフルオーダーで対応。右斜め45度から使うのが使いやすいという奥さまの要望に応え埋め込み式の食器棚、IH、シンク、食洗機と動線が右回りで完結するようになっている。車いすからでもレバー式水栓に手が届きやすい位置に水栓も移動している



1階の平面図。2階はご主人用のスペースで納戸や書斎として使う予定

類似品にご注意

比べれば納得! 特許

エアロバーコ 計量換気システム



各安全認証取得済み

バーコマルチポート80フレキダクト方式

これは使いやすい! 約204m³/h



燃えないダクトで8系統も吸引!

バーコES、EL、CF本格派スパイラルダクト方式

定評の高性能 約216m³/h



超高性能 約260m³/h



レンジフード兼用 約147m³/h



★熱線式センサーに起きがちな測定数値変動はありません

換気風量を一発表示!

★1979年(27年前)のバーコと現在のバーコは「心臓部のファンモーター」が共通部品で在庫が保証されています! 数年間ごとにモデルチェンジする某社製品のような未成熟さはありません。安心してお客様にお勧めいただけます★

すべて先進のスウェーデン製!

—世界の一流品をあなたに—
発売元: ディックス株式会社 FAX 011(892)8568



e-mail: info@ab-dix.co.jp
URL: http://www.ab-dix.co.jp